

P2

特集

いま、旅は  
「着地型観光」がアツい！  
～地域の資源を活かした  
地方発信のおもてなしを楽しむ～

P3

わくわく元気

P4～P5

まちのなかのひかりとかぜ。

雁の里コーラス（美郷町）  
NPO 法人 Yokotter（横手市）

P6

その食を巡るストーリー。

生産者 × コーディネーター × 飲食店（横手市）

P7～P8

インフォメーション

P8

サポートセンタースタッフのつばやき

P1 今月の表紙「美の国秋田・旬を感じるツアー」

昨年度大好評だった「旬を感じるツアー」が今年も全県各地で実施されており、グリーン・ツーリズム等に取り組む集落やNPOが企画運営に携わっています。昨年度、湯沢市を訪れた県外出身の大学生は「秋田市近辺しか訪れたことがなかった。秋田にこんなに魅力的な田舎があったとは」と感動した様子でした。今年は7月から2月頃まで、様々な企画が実施されています。詳細はホームページをチェック。

あんべ  
いいな  
秋田県





# いま、旅は「着地型観光」がアツい！

地域の資源を活かした地方発信のおもてなしを楽しむ

近年、注目が集まりつつある着地型観光。これは地域住民が主体となって、自分たちの住む地域の魅力を活かした旅行プランを企画し、訪れる人たちをおもてなしするというものです。地域によってその土地の魅力の打ち出し方は様々あります。今回は県内で行われている2つの事例を紹介します。

## 1 自然を感じる体験「グリーン・ツーリズム」

県内の農山村地域で盛んに行われているグリーン・ツーリズム。これは、豊かな自然、きれいな水と空気から育まれる美味しい農作物、その土地の暮らしや昔ながらの風習など、里山ならではの魅力を体験できる取り組みです。そこには参加者と地域の人たちとの交流も生まれます。

関連 URL：秋田のグリーン・ツーリズム総合情報サイト「美の国秋田・桃源郷をゆく」<http://www.akita-gt.org/>



### 事例 農業体験と農家民泊、地元料理で交流

仙北市のグリーン・ツーリズム西木研究会では、農家民泊体験を希望する県内の大学に通う外国人留学生を受け入れている。参加者は10月と11月の年2回、農家民宿を訪れ農業や農家の暮らしを体験。10月は1泊2日の日程で畑の野菜を収穫し、それを使った食事を楽しむほか、西明寺栗の収穫や皮むきの手伝いをするなど、その農家民宿でできる様々な体験を行う。11月は日帰り、郷土料理を作る体験と交流を楽しむ。留学生からはお世話になった農家民宿へ手作りマップやアルバムのプレゼントなど心のこもった贈り物が手渡される。心温まる交流が留学生にも農家民宿にも喜ばれ、日本の里山生活体験は今年5年目を迎えている。

関連 URL：仙北市農山村体験デザイン室ブログ <http://sembokugt.exblog.jp/>

## 2 まちを感じる体験「オンパク手法」

オンパクとは、平成13年に大分県別府市で始まった温泉博覧会の略で、地域資源の活用とその担い手の育成を目的とした民間主導の地域活性化の取り組みです。小規模な体験型プログラムを短期間に開催するこの取り組みは、地域活性化の一つの手法として全国的にも広がりを見せています。

関連 URL：一般社団法人ジャパン・オンパクホームページ <http://japan.onpaku.jp/>



### 事例 でんぱく～伝説の里かづの体感泊覧会～

鹿角市では昨年度より、オンパク手法を用いて人、食、歴史などの地域に残したい資源を活用した体験型プログラム「でんぱく」が行われている。人気プログラムの一つに、かつて日本一の鉱山として栄えた尾去沢鉱山の麓に位置する限界集落を訪ねる旅がある。集落で生まれ育った若者が案内人となって、集落の歴史や思い出を語りながら散策。昼食は住民が持ち寄った地元の料理で交流を楽しむ。一つ一つの企画は定員が少数に限られており、参加者がプレミアム感を味わいながら参加することも特徴の一つ。地域住民の参加も多く、身近にありながら知ることのなかった地域の魅力を発見したり、住民同士の新たな交流も生まれたりしているという。

関連 URL：かづのでんぱくホームページ <http://kazuno.onpaku.com/>

写真提供：NPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会  
(株)かづの観光物産公社(道の駅かづのあんたらあ)

ポイントは、地域が持つ様々な資源に地域住民が気づき、住民が主体となって資源を活かした体験活動を企画・実施することといえるでしょう。そこに生まれるのは交流であり、地域を元気にする原動力となります。また、取り組みを継続し定着させるためには、住民だけでなく、企業や行政なども含めた協力体制を築くことが大切です。身近にあって気づかないお宝が、みなさんの地域にも眠っているかもしれません。まずは地域を見つめ直すところから始めてみませんか。㊟

伝えるべきことを的確に  
気持ちを込めて！

横手高校定時制生徒が行く！

# わくわくげんき

Vol.3

3年 佐藤正樹      3年 飯田沙津季  
3年 草薙信康      3年 遠山智大



9月10日からの1ヶ月間、大曲駅前周辺の商店を会場に「得する！！大曲のまちなかゼミナール」が開催されました。これはお店の方が講師となって専門知識やプロのコツを無料で教えてくれるというものです。

10月6日、丸谷生花店で開かれた「親子で楽しむ花遊び！」という講座では、たくさんの花に囲まれた会場で子どもたちは生けるお花を選ぶのに夢中な様子でした。保護者の方も子どもとの会話を楽しみながら、それぞれ思い思いにお花を生けていました。完成した作品は、色彩豊かであったり凛としていたり、どれも美しいものでした。（記者：草薙）

**大曲まちゼミの会**  
(和装はきもの・小物 加藤)  
事務局 加藤 真吾 さん



駅前周辺のお店をもっと多くの人に知ってもらいたいという思いから企画した加藤さん。「初めての試みだったが、評判は良かった。親子連れで参加できる講座が少ないという声もあった。今後は地元の中学校や高校とも連携を図りたい。講座を通してお店のファンになってもらうことで地域を訪れるリピーターを増やし、まちが元気になるよう少しずつ歩いていきたい」と語りました。（記者：草薙）

**大曲まちゼミの会**  
(丸谷生花店)

会員 丸谷 勇幸 さん



大曲が好きだという丸谷さんは、手軽に誰でも取り組めるフラワーアレンジメント講座を開催しました。「緊張しないで和やかにできた。参加者のみなさんにも楽しんでもらえたと思う」と満開の花のような笑顔で振り返りました。今回のイベントを通し「たくさんの人にまちの良さを分かってもらいたい。これからもお店を活かして手伝いたい」と意気込みを語りました。（記者：遠山）

## ココろにのこったことをおしえて？

(記者：佐藤、飯田、草薙)

小学1年 佐藤 望羽さん

だいすきなむらさきいろのお花をつかったよ。このみどりいろのお花もかわいいでしょ。むすかしいとおもっていたけど、かんたんにできたよ。100てんちゅう90てんかな。たくさんおしえてくれてありがとう。



小学1年 大友 寧々さん

お花がすきだからきてみたの。てんすうをつけたら2まんてんかな。しょうてんがいはよくとおるけどドキドキして入ったことはなかった。丸谷先生はすごくやさしかった。お花をたくさんつかわせてくれてありがとう。つぎもぜったいくるね。



小学5年 富樫 綸さん

お母さんにさそわれてというのもあるけど、自分でもやってみたくて思っていたので参加しました。お花は秋をイメージしてオレンジ色を使いました。すごく楽しかったから次もまた来たいと思います。



THEME\_ボランティア団体/NPO

## まちにあふれる音楽の華

～地域と共に歩むコーラスグループ～



DATE\_団体情報

雁の里コーラス（美郷町）

代表/中村裕子さん

連絡先/TEL. 0187-82-1521



ホッと心が安らぐ温かさが恋しくなる秋の訪れ。透き通るような青空と木々の紅葉が美しい自然豊かな田園の里に、のびやかな歌声が温かく響いてきます。

### 趣味の活動から地域のための活動へ

雁の里コーラスは、昭和63年に旧仙南村に誕生しました。きっかけは、同じ地区に住む歌好きの主婦数人が、週1回、趣味の活動として個人宅で歌い始めたこと。口コミで参加者が集まり出し、公民館で活動を行うコーラス同好会となりました。発足からわずか2カ月後、地元の福祉施設からの依頼により、施設祭で歌声を披露する機会に恵まれました。「まだ歌える曲も少なく、みんなが知っている唱歌や村民歌を歌いました。この活動が私たちの原点。それから村主催のコンサート出演や他施設からの慰問演奏などの依頼をいただくようになりました」と代表の中村裕子さん。その後も施設祭には26年間欠かすことなく参加し、今では歌声を披露するだけでなく、入所者と一緒に歌い楽器演奏もするようになりました。そのために行われる事前練習でも交

流を深めています。

### 歌声はいつも町民の心の中に

この他にも、雁の里コーラスでは、町の成人式や金婚式で町民歌を歌ったり、小学校を訪問して子どもたちとの交流を深めたりしています。また今年は、新たな活動として美郷いきいき大学<sup>\*1</sup>でミュージカル風の読み聞かせを行いました。団体のモットーは、型にはまらず工夫を凝らすことでどんな年代の人でも楽しめる舞台を作ること。町民にとって、日々の疲れを癒し、心が潤う時間となっています。高齢者の方から「一緒に歌うことで元気が出て、気持ちがすっきりした」と話しかけられることもあったそうです。中村さんは「町を音楽で明るく元気にすることが自分たちの役目だと思っている。震災後は被災地にも歌声を届けたいと思うようになった。これからもみんなのために仲間と歌い続けていきたい」と語りました。

歌や音楽を通して人と人との絆を紡いできた団体の活動。それは人々の心を豊かに潤す華となり、接する人たちに元気と感動を与えています。☑

\*1 60歳以上の町民を対象に年6回行われる講座。高齢者が心身の健康を保ち、家庭や地域社会の一員として生き生きと暮らすことができるよう、学びやふれあいの機会を創出している。町生涯学習課主催。



THEME\_空き店舗利活用

空き店舗から

イノベーション\*<sup>1</sup>を生み出す

～秘密基地MIRAI～

DATE\_団体情報

NPO 法人 Yokotter (横手市)

代表/細谷 拓真さん

連絡先/TEL. 0182-23-8633



### 石蔵造りの元飲食店をリノベーション\*<sup>2</sup>

「ゆっくり話のできる場と相手が欲しいと思っていました」

NPO 法人<sup>ヨコッター</sup>Yokotterの細谷拓真さんは、学校でも職場でも自宅でもない第3の場所をつくりたいという思いから、平成24年、飲食店が入っていた空き店舗を改築して秘密基地<sup>未来 シークレット メディア ベース 未来</sup>MIRAI (Secret Media Bass-MIRAI) を作りました。空き店舗は、元々昭和4年に作られた石蔵でした。この静かで落ち着いた、それでいて力強い石蔵の雰囲気そのままに内装を変え、厨房設備のほか、イベントができるよう音響や映像の設備を設置。さらに、ゆっくり話ができる場となるよう、壁一面に大きなホワイトボードを取り付けるなど、随所に仕掛けや工夫がなされています。

### できることを持ち寄り、発揮する場に

秘密基地MIRAIの管理運営はオーナー制度方式で、利用者は月額5250円を支払ってオーナーになると自由にMIRAIに出入りすることができます。また、イベント開催等、会場の貸し切りが必要な場合は毎週2時間まで無料。それ以降は1時間1000円で貸し切り

利用することができます。現在は英会話や消しゴムハンコの教室、カメラ勉強会などの会場として定期的に使われています。また、若手農業従事者と消費者、加工業者の交流会なども行われはじめ、多方面に広がりを見せています。細谷さんは自身の高校時代を振り返り、地元の大人はつまらないと誤解していたと言います。「たくさんの方にMIRAIのオーナーになって頂き、それぞれが持つ魅力や強みを生かせるよう、取り組んでいきたい」と語ります。

### 対話から未来を生み出す

細谷さんは、MIRAIを会場に、地域の未来や人の幸せをテーマにした対話イベントを定期的で開催しています。参加者の多くは10代から30代までの前向きな若者。わざわざ県外から訪れ、参加する方もいるのだそうです。世代や立場の違う人たちの対話から新たな気づきや価値観が生まれ、まちへの誇りが持てるようになれば、いずれは地元に戻って活躍したいという若者が増えていくことでしょう。MIRAIはその名のとおり、人へきっかけを与え、未来を作っていく場となっていくのかもしれませんが。☒

\*1 それまでのモノ・仕組み等に対して全く新しい技術や考え方を取り入れ、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと

\*2 既存の建物の改修・設備追加等を行い、新たな価値を追加すること

# その食を巡るストーリー。

～人とヒト、地域をつなぐ、食のおはなし～

vol.07



This Story | 生産者 × コーディネーター × 飲食店 (横手市)

冬の足音が近づく頃、エゴマの実が収穫の時期を迎えます。日本が高度経済成長期を迎える頃まで、冷涼な地域で作られ親しまれていましたが、暮らしが豊かになったことでその食文化が衰退。しかし最近、動脈硬化の予防や血中コレステロールの低減等につながるとして見直され始めています。

東成瀬村で農業を営む杉山彰さんも、エゴマ栽培を行っています。収穫されるエゴマの実は、大きさが直径約2mm。その中からゴミを取り除く作業は、杉山さんにとって大変な作業だったそうです。そこで平成24年から、エゴマの実のクリーニング作業を美郷町にある障がい者就労支援センターもくもく道場へ委託しています。運営団体である社会福祉法人慈泉会の本間啓之さんは「利用者の職業的自立を目指し

て様々な作業訓練をするが、冬季は作業の確保が難しかった。委託を受けたことで利用者の工賃が向上。張り切って取り組む方もいる」と話します。

## 生産者と飲食店をつなぎ、食文化を守る

杉山さんと慈泉会をつないだのは、横手市十文字町の飲食店「紅玉」を経営する有限会社たかえんです。たかえんでは、平成22年から生産者と飲食店等をつなぐ交流会「紅玉マッチング」を行っています。

きっかけはその前年、農業をしたいと埼玉県から移住してきた杉山さんが、エゴマを使ってほしいとお店を訪ねてきたことでした。杉山さんとの契約が始まり交流する中で、杉山さんが農業をやめようとしていたことを知ったといいます。「聞けば、農業

だけでは生活が困難だということ。なんとかできないかと思った」と話すのはたかえん専務取締役の高橋基さん。社員と話し合い、紅玉として、かねてから関心のあった地産地消に取り組むことを決意。さらに農産物を必要とする飲食店とそれを提供できる地元農家とが契約を結ぶ「紅玉マッチング」を始めました。これによって契約に至った農家と飲食店は少なくありません。高橋さんは「地域に基盤を置く飲食店が地元のものに目を向けることが必要。人工的な食べ物は生活感をなくし、文化をなくし、結果的に地域がなくなることにつながりかねない。地産地消は経済交流だけでなく、地域独特の文化を作り遊びのある暮らしを守る運動だと思っている」と語ります。自社だけに留まらず地域全体豊かさを考える。たかえんの挑戦は続きます。☐

## 紅玉マッチングと杉山さんちのエゴマ

紅玉マッチングは年2回開催。高橋さんは他地域にもこの取り組みが広がることを願っている。

きっかけを作った杉山彰さんのエゴマは、ほぼ通年、紅玉で販売されている。店長の高橋紅さんオススメの食べ方は、塩と一緒に炒りアツアツのご飯にかけるもの。紅玉のランチ等にも添えられている。

デリカデッセン&  
カフェテリア紅玉  
TEL. 0182-42-5770



◀写真左から、高橋紅さんと高橋基さん



## えごまのかきあげ

**【材料】** えごまの実：50g/塩：小さじ1杯/水：50cc/たまねぎ：1/2個/  
**2人分** むきえび：100g/大葉：20g/たけのこ（水煮）：100g/冷水：大さじ4/  
レモン：1/4個/かいわれ：10g/小麦粉（薄力粉）：50g/パセリ：適量

**【作り方】** ①えごまの実をフライパンで2分ほど煎る/②すり鉢に①と水、塩を加え、粉っぽさがなくなるまですりつぶす/③たまねぎを薄くスライスする/④えびは皮をむき背ワタをとり3等分に切る/⑤たけのこはサイコロ状に切る/⑥大葉は千切りにする/⑦③～⑥の具材を水気を取りボウルに入れて混ぜる/⑧⑦に小麦粉を入れ混ぜ、具材全体に絡まったら②と冷水を加えよく混ぜる/⑨天ぷら油をフライパンで170～180度に熱する/⑩⑧を4等分にし、油で揚げる/⑪揚げたらバットに移し熱いうちに塩を適量ふりかける/⑫皿に、レモン、かいわれ、パセリを添えて盛り付ければ完成





INFORMATION

## Event イベント情報

TERM

2013/11/27 - 2013/12/21



自分も相手も大切にコミュニケーション  
「アサーティブトレーニング講座」

11/27

自分も相手も尊重しながら、気持ちを正直にその場にふさわしく表現するには。お茶を飲みながら気軽に学んでみませんか。

日時：11月27日(水) 13:30~15:30

講師：松葉谷温子さん(フェミニストカウンセラー・あきた AT 研究会会員)

場所：南部男女共同参画センター(横手市)

定員：30人 締切：11月20日(水)(託児あり)

申込・問合せ：南部男女共同参画センター

TEL.0182-33-7018



中川ひろたか絵本ライブ  
～親子で楽しむコンサート～

12/08

絵本「いぶりがっこちゃん」でおなじみ、中川ひろたかさんと、ちょっと早めのクリスマス絵本ライブで楽しみましょう。入場券、整理券は「かまくら館」でお求めください。

日時：12月8日(日) 13:30~15:00

場所：かまくら館(横手市)

参加費：中学生以下無料、要整理券

高校生以上500円

主催・問合せ：横手図書館ボランティア「おはなし大すきの会」  
TEL.0182-32-8475(黒沢さん)



グリーン・ツーリズム交流博 ここから秋田  
「餅っこメイキング!」

12/01

西木の家庭に伝わる餅っこを教わります。お漬物、お惣菜なども、西木の味、作って、見て、食べて楽しもう。

日時：12月1日(日) 9:00~15:00

場所：かたくり館他(仙北市西木町)

参加費：3000円 定員：35名 持ち物：エプロン

締切：11月20日(水)

申込・問合せ：NPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム  
推進協議会

TEL.018-829-5895



～地域を越え、県境を越えてつながろう～  
若者会議大集会

12/07-08

秋田発の「若者会議」が先進事例に!?若者会議をはじめとする県内外で地域のために活動する若者やその応援団の集い。活動紹介や交流でスキル共有とモチベーションアップを目指します。

日時：12月7日(土) 13:00~17:00

8日(日) 9:30~12:30

場所：あいの温泉鶴ヶ池荘(横手市山内)

締切：11月29日(金)

問合せ：特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター

TEL.0182-33-7002(南部市民活動サポートセンター)



いつかは…介護する人?される人?  
介護は、ある日突然やってくる!?

12/04

介護の予備知識を得て、ベッドや車椅子を使った実技を体験してみましょう。大人気の、認知症の方への対応を学べる寸劇「かがやき家のある日曜日の風景」もお楽しみに。

日時：12月4日(水) 13:30~15:30

場所：南部男女共同参画センター(横手市)

講師：谷川都子さん(特定非営利活動法人県南介護サポートかがやきネット)、森川広隆さん((有)いわしや佐東器械店)

定員：30名 申込・問合せ：南部男女共同参画センター

TEL.0182-33-7018



冬のエコクッキング

12/21

卵・乳製品・白砂糖を使わずに、心と体に穏やかないちごのデコレーションケーキを作ります。プリザーブドフラワーも作りも。

日時：12月21日(土) 10:00~13:00

場所：羽後町文化交流施設「美里音」

参加費：大人1200円 小中学生800円 幼児500円

締切：12月14日(土)

持ち物：エプロン・三角巾(バンダナ)

申込・問合せ：えがおの会

TEL.0183-62-5291(鈴木さん)



INFORMATION

## Sugitti スギッチファンド

## 12月5日締切!第10回助成事業募集が始まりました

なんとなく「自分たちの活動では助成金をもらうのは難しそう」「助成金は手続きが面倒そうだし」と思うことはありませんか。

スギッチファンドは地域で活動する多くの人に利用してもらい団体としてのスキルアップも応援するため、他の助成金に比べて条件の制約が少なく、手続きも簡素化されており、比較的申請しやすい助成の仕組みです。

11月5日から第10回あきたスギッチファンド助成事業の募集が開始されました。応募をお考えの団体は、スギッチファンドの

ホームページから募集要項を確認してください。募集要項には、どのような団体や活動が助成の対象になるか、助成金の使い道として認められているものは何か、助成を受けられるための審査基準などが書かれてあります。応募用紙もホームページからダウンロードすることができるほか、記入例も公開されています。ホームページを見て分からないことがあれば、サポセンで相談を受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。

しっかりと準備を整えれば助成金の活用は、そんなに難しいことではありません。スギッチファンドを利用して活動の輪を広げてみましょう。▶▶▶詳細は助成金情報へ



INFORMATION

# Grant 助成金・関連募集情報

TERM

2013/12/05 - 2014/01/20



## 全分野

第10回あきたスギッチファンド助成事業

12/05

対象団体：秋田県内において公益的、社会的な活動を行う NPO 等の団体

対象事業：本ファンド地域課題解決を目指した活動。他団体との協働も可

冠ファンド「三国子ども支援ファンド」東日本大震災の被害にあった子どもを多方面から支援する活動

東日本大震災避難者支援応援ファンド被災されて県内に避難している方々の生活、健康に関わる支援活動

助成金：本ファンド事業に応じて10万円、30万円、50万円 冠ファンド事業に応じて10万円、30万円

東日本大震災避難者支援応援ファンド10万円、20万円、30万円

助成対象期間：平成26年1月20日～平成26年8月31日 締切：平成25年12月5日（木）

申込・問合せ：南部市民活動サポートセンター TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7018

関連 URL：認定 NPO 法人あきたスギッチファンドホームページ

<http://www2.akita-kenmin.jp/~akita-npo-fund/>⇒助成を受けたい方⇒募集要項ダウンロード



## 子ども

子どもゆめ基金（平成26年度一次募集）子どもの体験活動・読書活動

12/05

対象団体：子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む団体で、活動するための体制が整っていること

対象事業：子どもを対象とする体験活動・読書活動①自然体験活動 ②科学体験活動 ③交流を目的とする活動 ④社会奉仕体験活動

⑤職場体験活動 ⑥その他の体験活動 ⑦読書活動

子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動①指導者養成 ②フォーラム等の振興普及活動

助成金：活動内容と活動範囲の規模によって決定

助成対象期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

締切：平成25年12月5日（木）消印有効

申込・問合せ：独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成

TEL.0120-579-081（月～金 9:00～17:00）、03-5790-8117 FAX.03-6407-7720

関連 URL：子どもゆめ基金ホームページ <http://yumekikin.niye.go.jp/>⇒助成金を受けたい方⇒子どもの体験活動・読書活動募集案内



## 環境

2014年度（平成26年度）公募助成<活動助成>

01/20

対象団体：NPO 法人、任意団体、一般社団法人。但し、平成25年度の「活動助成」助成先団体を除く

対象事業：以下を分野とする活動 ①自然環境の保護保全活動 ②野生動植物種の保護・保全活動 ③体験型環境学習活動や指導者育成

④活動地球温暖化や3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの環境の負荷を軽減する生活をテーマにした活動

助成金：活動内容に応じて助成

助成対象期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

締切：平成26年1月20日（月）消印有効

申込・問合せ：一般財団法人セブン-イレブン記念財団

TEL.03-6238-3872 FAX.03-3261-2513 MAIL.oubo.14b@7midori.org

関連 URL：セブン-イレブン記念財団ホームページ

<http://www.7midori.org/>⇒公募助成⇒2014年度公募助成のパンフレットはこちらからダウンロードできます

秋田県ボランティア・NPO 活動ニュース県南版

## ハンサン

2013年11月10日発行

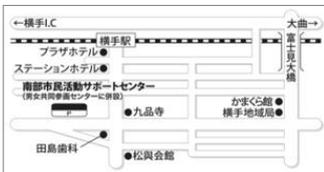
11月号 VOL.87

発行：秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター（南部市民活動サポートセンター）

南部市民活動サポートセンター



〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002

FAX.0182-33-7038

E-mail.ssc7002@luck.ocn.ne.jp

<http://www.akita-kenmin.jp/hg030001>

【相談受付】月・火・水・金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

【休館日】木曜日・年末年始（12/29～1/3）

## サポセンスタッフの つみやき VOL.07

プロボノ  
西村 勇也

秋晴れの田んぼ道を通ると幼少期を思い出します。稲刈り後の田んぼ。僕が子どもの頃は、そこが1番の遊び場でした。キャッチボールをしたり、プロレスごっこをしたり、ダンボールを使って秘密基地を作ったり。稲のモミが服の中に入って、チカチカする感覚に耐えながら。田んぼは、自分にとって、一つの「居場所」だったような気がします。今思えば、そこだけではなく、居場所がいくつもありません。山や川、橋の下、竹やぶ、工場跡や駄菓子屋などなど。今の子どもたちに「自分の居場所」と呼べる場所はどれくらいあるのでしょうか。ひょっとしたら「既成のハコ」しかないのかもしれないですね。もし、自分の子どもが生まれたら、その子にはどうか「自分の城」をたくさん築いてほしいなと思います。